のために周りの大人は何をしてあげら れられるのかを、一緒に考えましょう。 けること。子どもたちの今を知り、将来 ないこと。広い心で受け止め、見守り続 合い、どんな小さなシグナルも見逃さ や地域社会が一人ひとりとしっかり向き れません。子どもたちに必要なのは、親 大人たちへ発した心の叫びなのかも 自殺……こうした問題行動は、社会へ、 としています。 そのひずみがさまざまなカタチで表面 が生きにくいといわれている今の時代、 貧困格差の拡大、物や情報のはんらん、 薄化、少子高齢化社会の不安感、価 し、子どもたちの将来に暗い影を落 核家族化や都市化による人間関係の ·依存。 のめまぐるしい変化、競争の加速、 大人に限らず、子どもまでも 暴力、いじめ、不登校、 知

中学生

全生徒数

4,570,390

4,527,400

4,481,480

4,380,604

4,243,762

4,103,717

3,991,911

3,862,849

3,748,319

3,663,513

不登校生徒数

65,022

74,853

84,701

101,675

104,180

107,913

112,211

105,383

102,149

100,040

版)によると、問題行動のうち、いじめ、不登国がまとめている青少年白書(平成19年度 前年より増えて事件に発展するケースもあ も多く、暴力やたかりといった悪質なものが ました。 いじめの種類を見ると、言葉によるものが最 一家出で中学生の数が目立ちます。中学生

持ちをしつかり受け止めながら、早めに軌道 うことも。普段と違う様子が見られたら、気 なかったりすると、学校や家を遠ざけてしま や不登校が多くなる傾向があります。夏休 子どもの問題行動が増える時期。特に、家出 中の生活リズムの乱れを元に戻せなかった 夏休みが終わり、二学期が始まる9月は、 一遊びから勉強へと気持ちが切り替えられ

■いじめの発生学校数・発生件数(公立学校)

区 分		公立学校総数(校)	発生学校数(校)	発生件数(件)		
小学校	平成16年度	23,160	2,671	5,551		
小 子 収	17年度	22,856	2,579	5,087		
中学校	平成16年度	10,317	3,774	13,915		
十子权	17年度	10,238	3,538	12,794		
高等学校	平成16年度	4,093	1,115	2,121		
	17年度	4,082	1,223	2,191		
盲·聾·養護学校	平成16年度	939	39	84		
	17年度	943	38	71		
計	平成16年度	38,509	7,599	21,671		
	17年度	38,119	7,378	20,143		
計		•	,	, -		

17年度 22,709 7,197,458 99,578 3,626,415 ◎不登校(平成10年度までは「学校ぎらい」)とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、 あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、したくともできない状況に あることをいう。年間30日以上を欠席し、病気や経済的な理由によるものを除く。

全児童数

8,370,246

8,105,629

7,855,387

7,663,533

7,500,317

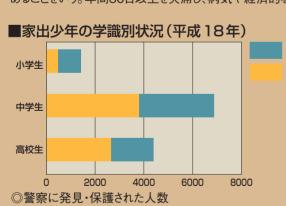
7,366,079

7,296,920

7,239,327

7,226,910

7,200,933



■不登校児童・生徒数の推移

不登校児童数

16,569

19,498

20,765

26,017

26,047

26,373

26,511

25,869

24,077

23,318

区分

平成7年度

8年度

9年度

10年度

11年度

12年度

13年度

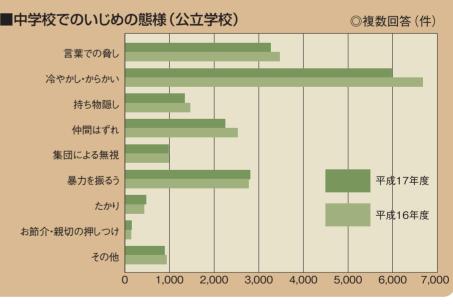
14年度

15年度

16年度

小学生





|深夜外出の制限

保護者は、特別の事情がなければ深夜(午

にのる

ための条例を定めています。大人 4任において、きちんと守るよう

宗では、子どもたちを健全に育て

な行為をしてはいけません。 いるとしか認められない性行為又はわいせつ 違反□○2年以下の懲役または100万円以

質受け、古物の買受の制限等

罰金

遅反□10万円以下の罰金または科料 受けしたりしてはいけません。 合は、青少年から物品を質受けしたり、 (屋、古物商は、保護者の委託や同意がな

●着用済み下着等の買受け等の禁止

ったり、売却の委託を受けたり、売却の仲介 をしてはいけません。 だれでも、青少年から着用済み下着等を買

少年健全育成条例のしおり」千葉県から

違反□30万円以下の罰金または科料

等正当な理由がなく、深夜に、青少年を連れ 運反□20万円以下の罰金または科料 出すこと等をしてはいけません。

るような不当な手段で、又は保護者の委託

だれでも、青少年を脅かしたり、欺いたりす

出させないように務めなければなりません。 後11時から翌日の午前4時まで)青少年を外

深夜における入場禁止等

を客として入場させてはいけません。 ンガ喫茶の営業者や従業者が、深夜に青少年 カラオケボックスやインターネットカフェ、マ

望を満足させるための対象としてあつかって た不当な手段によるほか単に自己の性的欲 困惑させる等青少年の心身の未成熟に乗じ ●みだらな性行為等の禁止 だれでも、青少年に対し、威迫、欺き、又は □30万円以下の罰金または科料

■市内の補導少年の行為・学識別状況(平成19年度)

□ Λ	小户	学生	中等	学生	高村	交生	計		∧ = I	
区分	男	女	男	女	男	女	男	女	合計	
喫煙	0	0	20	1	46	10	66	11	77	
怠学	0	0	2	0	0	0	2	0	2	
飲酒	0	0	0	0	4	0	4	0	4	
ゲームセンターへの出入り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
危険な遊び	15	2	11	11	10	17	36	30	66	
自転車二人乗り	6	1	19	4	29	8	54	13	67	
その他	8	0	27	9	5	4	40	13	53	
計	29	3	79	25	94	39	202	67	269	

◎ゲームセンターへの出入りは、小・中学生は午後6時以降、高校生は午後10時以降の人数。

非行のサインが 見えていますか?

無口になったり、親を避けることが多くなった り、食事を残すようになったり。心が揺れ動いて いる子どもは、本人が自覚している、していないに かかわらず、日常でいろいろなサインを出していま す。何かは、突然起こるのではなく、必ず予兆が あるはずです。「うちの子に限って」と、サインを見 逃してしまわないように、しっかりと見ていてあげ ましょう。そして、早めに手を差し伸べるようにし、 どうしたら良いか分からない時には、専門機関な どへの相談をお勧めします。

こんな言動に注意!

- 金遣いが荒くなり、金をせびった り、釣り銭をごまかしたりする。
- 学校へ行くのをいやがり、急に成 績が下がる。
- 言葉遣いが荒くなり、親に反抗す
- カバンが薄くなり、教科書を持た ずに学校へ行く。
- ○知らない人や名前を言わない友 達からの電話が増える。



話をしながら、 一緒に悩みの出口を 見つけましょう

少年センター相談員

子どもも、親も、問題から逃げないで、それに向き合うことから 始めて欲しいと思います。でも、一人で頑張っていくのは、とても 大変なことですし、行き詰まることもあります。そんな時は、誰かに 話してみることも大切です。

少年相談は、「こうしなさい」と意見を押し付ける場ではなく、

それぞれの相談者の身になっ て一緒に考える場です。悩ん でいる時は、迷路の中にいる ような状態で、どうしたら良い か分からないかも知れません が、出口は必ずあります。悩み を話しているうちに、何かに気 付いたり、見方が変わったり、 違う道が見えてきたりするもの です。先を急がず、必ず何か が見つかるまで一緒に考えま すから、あなたの声を聞かせて ください。



んでいる場合 てください。まずは挨拶から始めて、人と人のして、積極的に子どもたちに声を掛けてあげして、積極的に子どもたちに声を掛けてあげ 守っているのだということを知らせます。たと

をパトロールし や駅、大型店舗 た市 補導専門員と協力し合い、 ≥場合には、相談相手になることもあ、学校に行かずにゲームセンターで遊べ煙している場合は弊害を教えて優し 市少年補導員が160 づかせ、同時に多くの大い、愛の一声を掛けることしています。非行の入り口 :員が160人いて、警察教育委員会から委嘱さ !時に多くの大人が見 を掛けることで良く ムセンター、 公園など 一口にいる

子どもの悩み、親の悩み どんなことでも相談にのります!

「少年相談」

●電話相談 ☎320-3340

月~金曜日の午前9時~午後5時(木曜日は 午後7時まで)

●メール相談

youngnet@city.ichikawa.chiba.jp 24時間(相談メールの受け取りが土・日曜日 の場合は月曜日、祝日の場合は翌日、年末年 始の場合は1月4日以降に返事をします)

●面接相談 ☎320-3340へ予約

月~金曜日の午前9時~午後5時 場所 メディアパーク市川3階

少年センターの「少年相談」 では、20歳未満の子とその係 護者のさまざまな相談に、経り 豊かな相談員(心理・教育の専門 家など)が無料で応じています。 電話、メール、面談から、相談し やすい方法を選び、自分自身で 納得できるまで何度でも相談し てください。もちろん秘密は厳 守し、必要に応じて専門機関の 紹介もしています。子どもだけ でも、保護者本人の悩みでもた まいません。

■平成19年度の相談件数

一一人以下一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的															
相談者	小学生		中学生		高校生		大学生・ その他学生		有職·無職少年		保護者		合計		総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
交友	1	23	11	23	20	52	0	81	0	5	0	20	32	204	236
いじめ	1	6	21	22	7	6	0	0	0	1	1	24	30	59	89
学業	0	2	0	0	11	0	2	0	0	0	0	9	13	11	24
性	1	0	6	1	8	0	3	0	0	0	0	7	18	8	26
異性	0	19	1	10	10	124	2	0	0	1	0	4	13	158	171
健康	0	1	9	0	5	4	5	7	1	3	0	27	20	42	62
家庭生活	2	33	46	117	17	178	9	47	2	8	26	671	102	1,054	1,156
学校生活	2	5	30	206	13	146	6	1	1	1	6	210	58	569	627
虐待	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0	1	1	1	9	10
しつけ	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10	4	14
不登校	3	8	123	65	7	17	0	0	0	0	32	176	165	266	431
非行	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	1	15	1	22	23
進路	0	2	4	9	1	210	0	0	0	3	0	13	5	237	242
仕事	0	0	0	0	2	4	3	0	0	14	0	16	5	34	39
その他	0	3	2	3	5	0	0	0	0	0	0	2	7	8	15
総数	10	102	263	460	106	749	30	137	4	38	67	1,199	100	2 605	2 165
	112		723		855		167		42		1,266		480 2,685		3,165

※件数は、電話相談、メール相談、面接相談の合計。